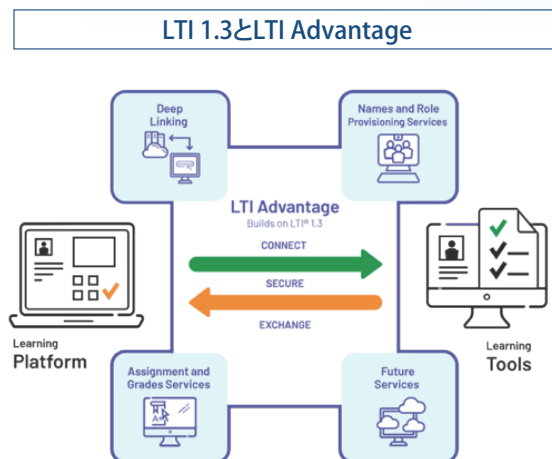


1 LTI®とは

Learning Tools Interoperability (LTI)は、学習アプリケーションとツールを、学習管理システム(LMS)や学習eポータルなどのプラットフォームに安全かつ簡便に接続することを目的とした技術標準です。安全な接続の確立を担うLTI Coreと、オプションのサービスとで構成されます。

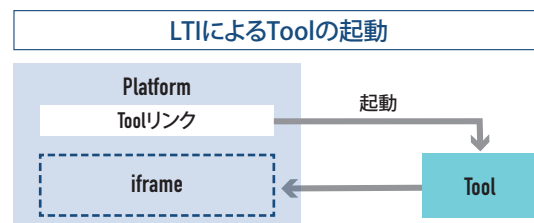
LTIを使用することで、学習プラットフォームに登録した学習アプリケーションやツールを、数回のクリックだけで安全に利用できるようになります。



2 LTI 1.3とLTI Advantage

LTI 1.3による学習プラットフォームとツール間との連携により、既存のサービスや新しいサービスの、高度なセキュリティによる統合を実現できます。以下が、LTI 1.3の特長です。

- OAuth 2とJSON Web Tokenを基底としたIMS Security Frameworkの適用によるセキュリティの向上
- 基本的な起動からLTIのすべての機能を利用したサービスをサポートするドキュメントとガイダンスの改善
- システムやサービスを統合し、デジタル・エコシステムの実現を可能にするLTI Advantageの提供



LTI AdvantageはLTI 1.3に基づいて構築される3つのエンドユーザーサービスの総称です。LTI Advantageにより、学習指導および学習活動で重要な以下のアクティビティをサポートします。

• Assignment and Grade Services (AGS)

学習ツールでの点数などの学習結果を、学習プラットフォームの成績簿に記録できるようにする。

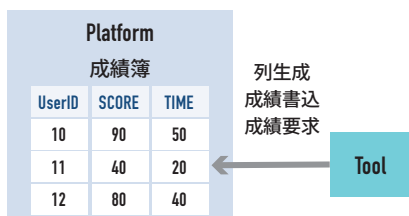
• Names and Role Provisioning Services (NRPS)

役割(教員、児童・生徒、管理者など)を含むユーザー情報のリストを、学習プラットフォームから学習ツールへ提供する。

• Deep Linking (DL)

学習プラットフォームから、学習ツール内のコンテンツやテスト等の教材へ直接アクセスできるようにする。

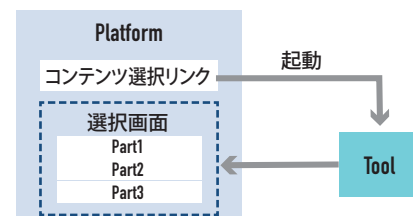
AGSによる成績簿へのアクセス



NRPSによる名簿へのアクセス



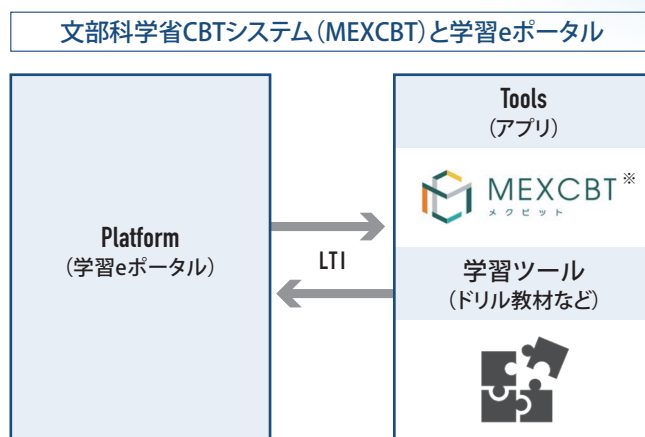
DLによるコンテンツの選択



3 LTIの導入事例

LTI 1.3とLTI Advantageは、Canvas、Blackboard Learn、Moodleを始めとする学習管理システム(Learning Management System: LMS)と、学習ツールとの連携に広く用いられています。

文部科学省CBTシステム(MEXCBT)と学習eポータルとの接続にも、LTI 1.3とLTI Advantageが用いられています。その他の学習ツールと学習eポータルとの接続にも、LTIが用いられます。



※出典:文部科学省

4 部会の紹介

日本IMS協会のワーキンググループであるLTI国内適用検討部会(略称:LTI部会)では、ハンズオンセミナーの開催やコミュニケーションツールを通じ、LTIの実装に向けた情報を公開、共有しています。また、日本国内におけるLTI実装事例の紹介など、学習プラットフォームや学習ツールでのLTI利活用・実践を推進します。



LTI国内適用検討部会 参加団体

主査	畠田 浩史	株式会社内田洋行
副主査	田中 頼人	株式会社サイバー大学 准教授
部会員	山田 恒夫	放送大学 教授
部会員	常盤 祐司	法政大学 客員所員
部会員	上田 浩	法政大学 教授
部会員	梶田 将司	京都大学 教授
部会員	中野 裕司	熊本大学 教授
部会員	株式会社ネットラーニング	
部会員	株式会社デジタル・ナレッジ	
部会員	アシストマイクロ株式会社	
部会員	株式会社インフォザイン	
部会員	ATR Learning Technology株式会社	
部会員	株式会社SibaService	

(2022年2月現在)

お問い合わせ

一般社団法人 日本IMS協会



IMS Japan Society

一般社団法人日本IMS協会事務局

E-mail :contact@imsjapan.org

<https://www.imsjapan.org/> (IMS Japan Society)

<https://www.imsglobal.org/> (IMS Global Learning Consortium)



IMSJ



IMS GLC